

LOGISTICS, THERMAL & DRIVE SYSTEMS

物流・冷熱・ドライブシステム

2024年度の概況

東南アジア等の需要拡大を背景に冷熱製品が増加したほか、データセンター向けを中心にエンジンが増加したことなどにより、連結受注高は、前年度をやや上回る1兆3,305億円となりました。

売上収益は、冷熱製品やエンジン等が増加したものの、物流機器が減少したことなどにより、前年度並みの1兆3,071億円となりました。

事業利益は、物流機器やターボチャージャが減少したことなどにより、前年度を下回る493億円となりました。



ARTsmf



ビル用マルチエアコン「LXZシリーズ」

エンジン・
ターボチャージャ
2,791億円

主要な製品とサービス
・産業用エンジン
・発電セット
・コージェネシステム
・ターボチャージャ

その他
-78億円

物流機器
6,660億円

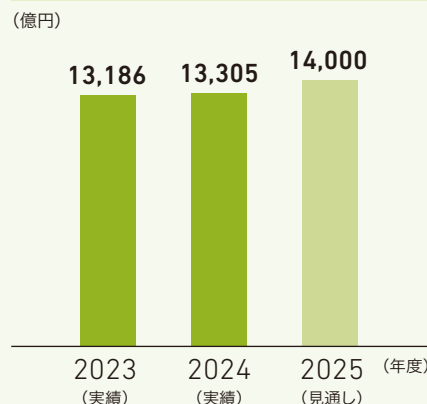
主要な製品とサービス
・フォークリフト
・港湾荷役機械
・物流システムおよび
周辺機器

2024年度
売上収益
13,071
億円

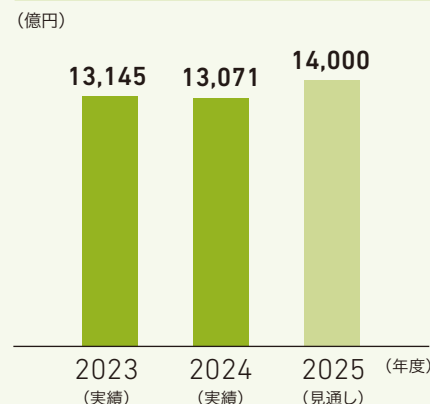
冷熱・カーエアコン
3,698億円

主要な製品とサービス
・家庭・業務用エアコン
・ターボ冷凍機
・輸送冷凍機
・電動・ベルト式コンプレッサ

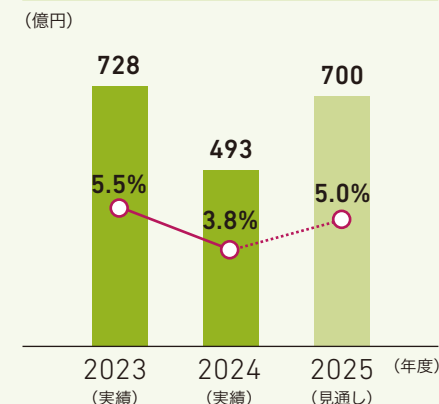
受注高



売上収益



事業利益／利益率



※ 本レポートには、当社が2025年9月30日に公表した「当社連結子会社である三菱ロジスネクスト株式会社の非公開化に係る契約の締結及び連結子会社の異動(予定)」の影響を反映していません。

LOGISTICS, THERMAL & DRIVE SYSTEMS

事業環境と中長期の重点戦略

人々の生活のさまざまなステージで、豊かな暮らしと持続可能な社会の実現に貢献すべく、技術やサービスを提供しています。また、各事業が注力する市場において収益拡大を目指すとともに、環境意識の高まりや技術革新が進む中で、脱炭素、省エネ、知能化・無人化といった分野に注力していきます。

物流機器は、国内の需要は、引き続き安定的・堅調に推移しています。海外の需要に関しては、米国では在庫調整がほぼ収束し需要が回復すると見ていましたが、関税政策による景気の不透明感から需要は減少傾向にあります。一方、欧州は緩やかながら回復基調、アジア・中国も比較的堅調ですが、これらの地域では中国製品の台頭により競争環境は激化しています。こうした状況下で、サービス事業の強化、固定費の改善、価格の適正化等を進め、収益性の向上に取り組んでいます。また、「安全・安心」「自動化・自律化」「脱炭素」といった物流機器市場のニーズに応えるための施策、具体的には、顧客の物流現場での安全サポート、物流ソリューションの提供、バッテリー車のラインアップ拡充等を推進します。

冷熱では、空調機器に関しては、欧州のエネルギー需要の変化や中国の不動産需要の低迷により特定の地域での需要が伸び悩んでいます。中国を除くアジア市場では需要が拡大しています。また、大型冷凍機に関しては、半導体工場、地域冷暖房などの大型設備投資の増加によって需要が拡大しています。中長期的には、新興国の経済成長や環境規制の強化、省エネ意識への高まりを背景に、冷熱市場の成長が期待されており、各地域のニーズに合った製品ラインアップの拡充や、自然冷媒・低環境負荷製品の開発を進め、社会のニーズに応えながら事業拡大を目指します。

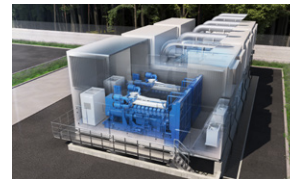
カーエアコンは、世界的な環境対応の進展により、中長期的には電動化車両の市場の拡大が見込まれます。これに伴い、当社が取り

組む付加価値の高い電動コンプレッサの需要も増加する見通しです。高効率、低騒音、高速運転、低コストを軸に、既存製品の付加価値を高めるとともに、お客様のニーズに応じていきます。

エンジンでは、世界的な情報通信量の増加によりデータセンター向けのバックアップ電源設備の需要が高まっています。一方で、低・脱炭素社会の実現に向け、海外向けガスエンジンや、再生可能エネルギーと組み合わせたハイブリッド発電システムの拡販、分散型電源の低・脱炭素化に貢献する水素混焼ガスコージェネレーションシステムの販売を開始し、また、水素専焼エンジンの製品化に向けた開発も進めています。

ターボチャージャでは、世界的な電気自動車の需要減速に伴い、中国や北米市場を中心に需要が回復しており、新興国では環境対応としてターボチャージャ搭載車が増加する見通しです。一方で、中長期的には環境規制の強化により電気自動車や燃料電池車の普及が見込まれるため、プラグインを含むハイブリッド車向けのターボチャージャに加え、ターボチャージャ技術を活用した燃料電池車向けの電動エアコンプレッサの開発も進めています。

ソリューション事業は、当社のΣSynX(シグマシンクス)を活用して、物流分野で「かしこく・つなぐ」「知能化・自動化ソリューション」を展開しています。特に、物流2024年問題や労働者不足といった課題に直面している物流業界に対して「ピッキング」「入出庫」「トラック荷積み・荷降ろし」を中心とした課題解決ソリューションを順次提供することで社会へ貢献していきます。



非常用発電セット



ピッキングソリューション

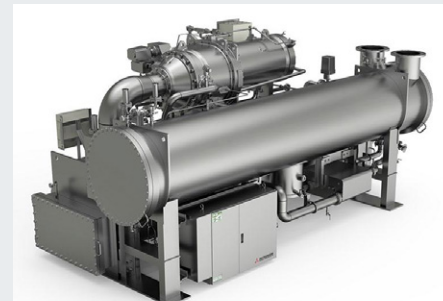
FOCUS

国内外で進化する三菱重工のターボ冷凍機事業

三菱重工サマルシステムズ株式会社(MTH)は、家庭からビル、工場、地域冷暖房まで、環境に配慮したサマルソリューションを提供しており、近年はターボ冷凍機事業が伸長しています。日本国内では、長年の実績と高い技術力を強みにトップシェアを誇り、低GWP*冷媒を使用した大容量ターボ冷凍機JHT-Y/JHT-YIシリーズの開発で、環境省の「令和6年度気候変動アクション環境大臣表彰」を受賞しました。低GWP冷媒を採用したターボ冷凍機としては、5,400冷凍トンまでの製品化は国内初です。海外では、シンガポール、タイ、韓国、サウジアラビアなどにも納入実績があり、2024年にはアラブ首長国連邦・ドバイの地域冷房プラント向けに大型ターボ冷凍機を受注しました。冷凍効率と環境性能の高さに加え、過去に納入した機器の運転性能や良質なアフターサービス対応が受注につながりました。

MTHは、今後も国内外で高まる需要に応えるべく、エネルギー効率の高いターボ冷凍機を提供していきます。

* Global Warming Potentialの略。CO₂を1とした地球温暖化係数で、値が小さいほど温室効果が低く環境性に優れます。



ターボ冷凍機
JHT-Y/
JHT-YIシリーズ